

【記載例】

別記群地基様式第50号

確約書取得不能理由報告書

令和 〇年 〇月 〇〇日

地方公務員災害補償基金群馬県支部長 様

報告者職・氏名 〇〇課長 なに めねの
(所属長)

下記事案については、以下の理由により第三者から確約書を取得することが出来ませんでしたので、その状況を報告します。

記

当事者	甲 (あなた)	住所	前橋市〇〇町XX-XX
		氏名	加害きよし
	乙	住所	前橋市△△町XXX
		氏名	群馬 県 四 郎 (被災職員)
発生日時	令和 〇年 〇月〇〇日 (〇) 午前・午後 5時 40分頃		
発生場所	前橋市〇〇町XXXX-X付近の市道(交差点)		

【取得出来なかった理由】

甲(加害者)は無保険であり、本人に下記の説明を行ったものの誠意が感じられず、確約書の提出についても拒否された。

【受けた損害にかかる第三者(加害者等)への説明の状況】

※ 今後基金が行う損害賠償請求を円滑に進めるため、加害行為によって生じた療養費用等について、後日基金から請求がある旨を必ずお伝えください。

説明を行った日時	令和 〇年 〇月〇〇日
説明内容	<ul style="list-style-type: none">甲の交通違反により負傷を負い治療を行っており、治療終了後、地方公務員災害補償基金群馬県支部から甲に治療費の請求があること。確約書の提出により、本債務の承認をお願いしたいこと。
第三者の反応や主張	<ul style="list-style-type: none">見通しが悪い場所なのだから、乙(被災職員)ももっと徐行すべきであった。自分が100%悪い(治療費を100%負担する)というのは納得いかない。